

# IIBC NEWSLETTER

March 2023 Vol. 148

中山 哲成氏



特集

## 英語学習者にアンケートを実施！ なぜ英語を学ぶのか

p2 アンケートの概要

p4 30歳、ゼロからのスタートでも  
英語は話せるようになる  
弥生交通株式会社 タクシードライバー  
中山 哲成氏

p5 専業主婦が通訳を目指し、  
大学の英語講師になる  
大学英語講師 中根 香代子氏

中根 香代子氏



## Special Interview 採用市場における 英語スキルが広げる 新たな可能性

p6 株式会社マイナビ 社長室  
HRリサーチ統括部 部長  
栗田 卓也氏



## 英語がもたらした 私のターニングポイント

p10 タレント 鈴木ちなみさん



## English Frontline 英語を使った就業体験を提供する 「ShiriBeshi留学」

p14



## 「English Cup 2022」 を開催

p8



特集 英語学習者にアンケートを実施!

# なぜ英語を学ぶのか



IIBCは、現在英語を学習している、または今後英語を学習しようと考えられている方を対象に、「英語における夢や目標と英語学習の関連性、および英語学習の方法」について、オンラインアンケートを行いました。本特集では、その結果を紹介するとともに、英語学習で身につけた英語力を生かすことで、夢や目標をかなえられた弥生交通株式会社タクシードライバーの中山哲成氏と、大学英語講師の中根香代子氏のお2人にご登場いただき、英語の学習法や学習の結果が人生に与えた影響などについてお話を伺いました。

## 夢や目標は英語学習の大きなモチベーションになる

アンケートでまず皆さんに、英語を学習している、または今後しようと考えている理由を尋ねたところ、「かなえたい目標や夢があるため」が57.5%となっており、6割近くの方が、何らかの夢や目標に向けて英語を身につけたいと考えていることが分かりました(図1参照)。

具体的にどのような夢や目標を持っているのかを聞くと、仕事に関することでは、「海外とやり取りする仕事に就きたい」が35.3%で最も多く、次いで「英語圏に海外駐在したい」(26.2%)、「非英語圏に海外駐在したい」(22.0%)、「外資系の企業で働きたい」(21.2%)となりました。また学校などに関することでは、「英語圏に海外留学したい」が17.7%、「英語圏でインターンシップやワーキングホリデーをしたい」が16.7%でした(図2参照)。

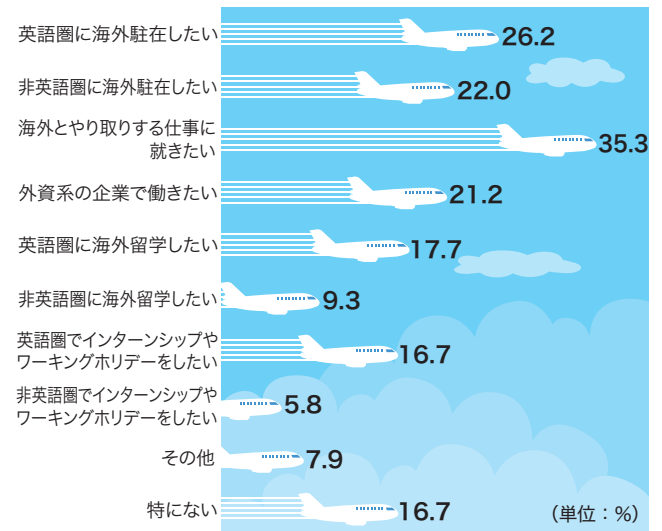
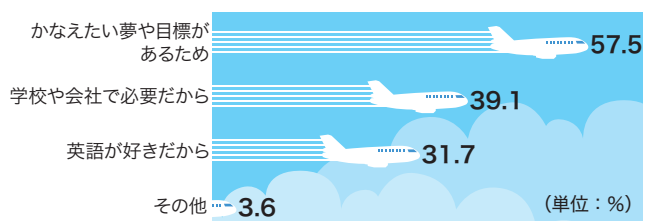
傾向として、20代の方ほど「海外駐在したい」と答える率が高く、一方30代では「外資系の企業で働きたい」との回答が多くなっています。20代は仕事を通じて海外に出たいという志向が強く、30代になると転職も見据えたキャリアアップを目標に英語学習をする方が多くなるのかもしれませんが。

仕事や学校に関すること以外の夢や目標においては、「海外旅行に行きたい」がトップで、「映画を字幕なしで見たい」「外国人の友達を作りたい」と続いています。そのうち、実際に「海外旅行に行った」ことがある方や、「外国人の友達を作った」ことがある方が多く、そうした体験がさらに上の英語力を身につけたいというモチベーションにつながっているのではないかと考えられます。

このように英語を使ってかなえたい夢や目標があると、英語学習がはかどるのかを尋ねたところ、「はかどると思う」(35.5%)と「まあまあはかどると思う」(44.6%)をあわせて、全体の約8割の方が、夢や目標を持つことで英語学習がはかどると答えています(図3参照)。

図2: Q 仕事や学校に関することで英語を使用してかなえたい目標や夢がある方、具体的にかなえたいことを教えてください。既にかなえているもの、もう一度したい、行いたいというものがある場合はそれも含めてご回答ください。(n=496)

図1: Q 英語学習をしている(または今後英語学習をする)理由を教えてください。(n=496)



## アンケート調査の概要

**調査対象:** 現在英語を学習している、または今後英語を学習しようと考えている一般の方

**調査方法:** インターネット調査  
**調査時期:** 2022年11月17日~11月22日

**回答人数:** 496人

### 回答者の全体像

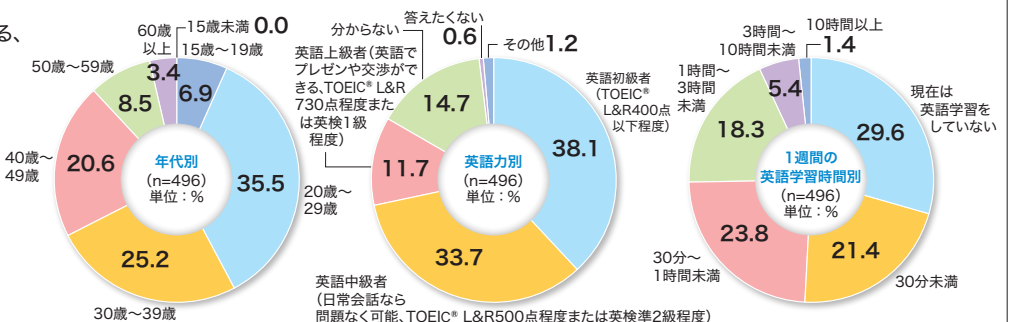


図3：Q かなえない目標や夢があると、英語学習ははかどりますか。現在英語学習を行っていない方は想像でご回答ください。(n=496)

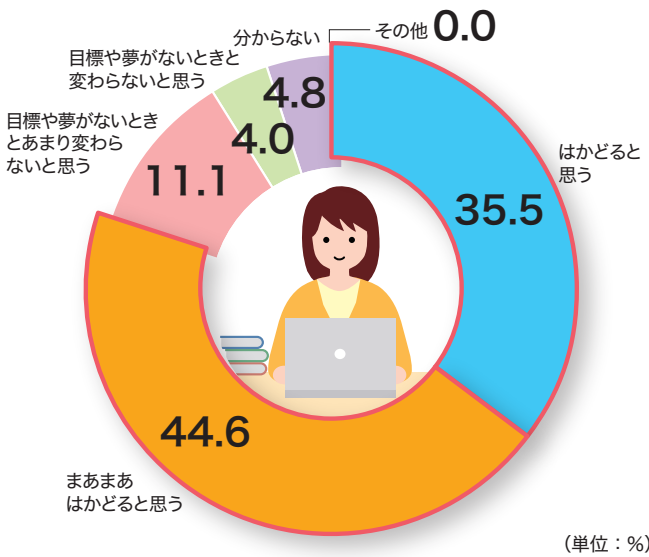
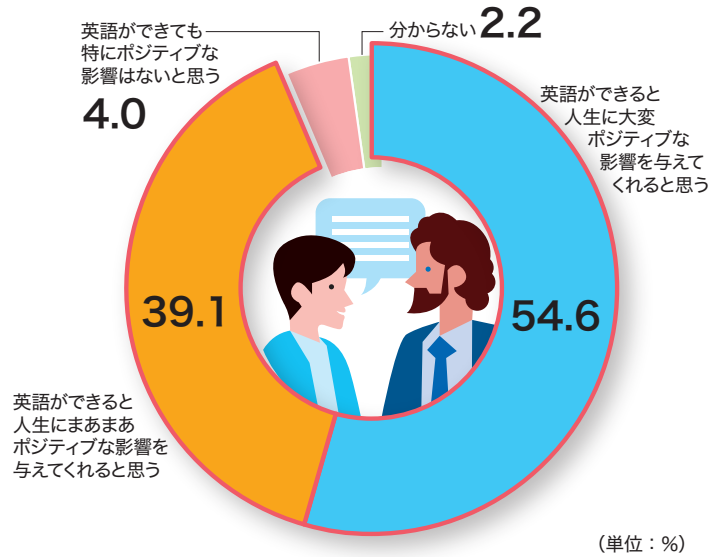


図4：Q 「英語ができる」ことはあなたの人生にポジティブな影響を与えてくれると思いますか。(n=496)



### 英語ができることは、人生にポジティブな影響をもたらす

また、英語ができることは、人生にポジティブな影響を与えてくれると思うかという問いには、「大変ポジティブな影響を与えてくれると思う」が54.6%、「まあまあポジティブな影響を与えてくれると思う」が39.1%で、9割以上の方が、英語ができることが、人生にポジティブな影響を与えてくれると考えています(図4参照)。

どのようにポジティブな影響があると思うのかを尋ねたところ、英語ができると「ビジネスで役に立つ」がトップで、「職業やキャリアの選択肢が広がる」「海外旅行に行きやすくなる」などが上位に並びました。特に20代では、ポジティブな影響としてキャリア関係を挙げる方が多く、30代は「交友関係が広がる」「日本語以外での情報収集ができる」など、個人的な生活面でのメリットを挙げる方が多くなっています。

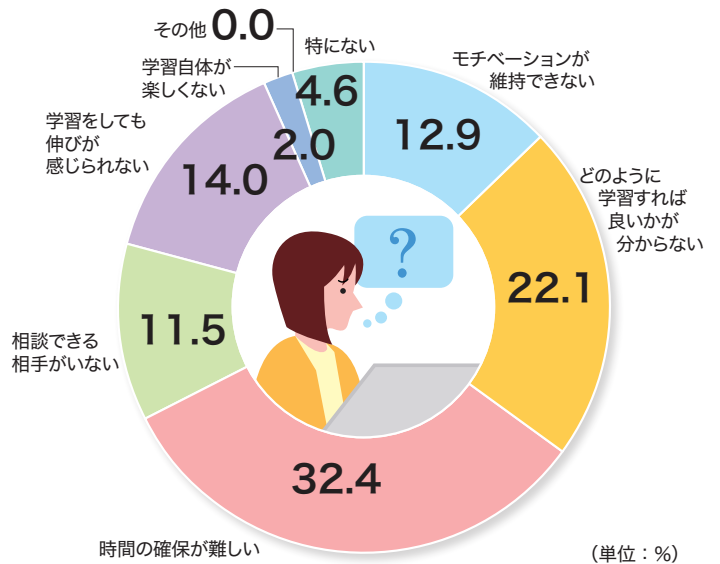
さらに、英語ができる人に対しては、「憧れる」「カッコいい!」など、全体的にプラスのイメージや憧れを持つ方が多いようです。

### 英語学習の時間をどう確保するかが課題

続いて、英語学習について質問しました。英語4技能の中で、特に伸ばしたい技能について聞いたところ、「スピーキング」が最も多く、次が「リスニング」となりました。英語で行ってみたいことのダントツ1位が「外国人と英語で日常会話をする」であることから、コミュニケーションのための英語力を重視していることが分かります。

英語学習をしている方の現在の学習方法は、「教材を使用して学習している」がトップで、「オンライン英会話レッスンを受講している」「対面の英会話レッスンを受講している」と続いています。また、今後行ってみたい学習方法については、1位が「オンライン英会話レッスン」、次に「スマートフォンのアプリを活用した学習」など、ITを活用した学習方法に興味を持つ方

図5：Q 英語学習における一番の悩みを教えてください。(n=349)



が多くなっています。

一方で、英語学習を行う上で一番の悩みを聞くと、「時間の確保が難しい」が最も多く32.4%で、次いで「どのように学習すれば良いかが分からない」が22.1%でした(図5参照)。

また、今回のアンケートでは、29.6%の方が「現在は英語学習をしていない」と答えており、その理由として、「忙しく、(英語学習のための)時間が取れない」を挙げる方が最も多いという結果になっています。現在英語学習を行っている方も、英語を学習したいと思っている方も、学習のための時間を作ることが一番の課題となっているようです。

次のページでは、社会人になってから自分の力で英語を学び、夢や目標をかなえたお2人に、忙しいなかどのように英語を学習し、また、英語を学習したことで人生にどのような影響があったのかについてお話しいただきます。



# 30歳、ゼロからのスタートでも 英語は話せるようになる

弥生交通株式会社 タクシードライバー 中山 哲成氏

## オリンピック開催に向け英語をマスターすることを目標に

私は東京でタクシードライバーをしながら、30歳で英語学習を始めました。それから4年後の2018年、「第5回 タクシー運転者『英語おもてなしコンテスト』」で最優秀賞を受賞。海外メディアから英語で取材を受けたり、英語学習に関する本を出版したりと、英語によって人生が大きく変わりました。

10代の頃はあまり勉強をせず、本気でミュージシャンを目指していたのですが、20代半ばで夢を諦め、30歳目前でタクシー会社に入社しました。当時、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定して、タクシー業界でも英語の必要性が認識され始めていた頃です。昔から洋楽や洋画が大好きで、英語に強い憧れがあった私は、音楽にかわる新しい夢として「6年後のオリンピックまでに英語が話せるようになる」と思い立ちました。

とはいっても、元々勉強は苦手。難しい参考書を見てもやる気が起きず、発音の練習から始めました。発音記号を見ながら音源に合わせて例文を声に出すと、意味は分からなくても英語を話している気分になります。それが楽しくて、ハリウッドスターのインタビューを丸暗記して本人になりきってみるなど、そんなことを夢中になって続けていたら、発音は自信が持てるレベルになりました。それで今度は、自分の言いたいことを英語で話せるようになりたくって、文法も本気で勉強しました。

ところが、いざ外国人のお客様と相対すると、挨拶は完璧な発音なのに、その後言葉が全く出てこなかったのです。ショックでしたね。どうすればいいのかわからず挫折して、しばらく悩んで行きついたのが、タクシーで使いそうな定型文を徹底的に頭

に入れることでした。それまでは、自分でゼロから英文を作って話さなければいけないと思っていたのですが、ある程度シーンを想定して、例文を用意しておけばいいと気付いたのです。それからは意識して、こういうときはどう答えるのか、こんな風に言えたらカッコいいな、といった表現のストックを自分の中にとどんどん増やすことで、スムーズに接客できるようになりました。

## “have to”ではなく“want to”の気持ちで英語に取り組む

ここまでくると、次の課題は雑談力です。これはひたすら実践あるのみ。幸いタクシードライバーの仕事は、普段から外国のお客様と英語で接する機会がありますが、それだけでなく、空き時間や休みの日には、オンラインレッスンやSNSなどで積極的に海外の方と交流しました。インターネットのおかげで、留学しなくても英語が学べるいい時代になったと思います。

特に効果的だったのが、海外の方に日本語を教えるチューター活動でした。教えるためには徹底的に準備して、分かりやすく英語で説明し、相手の質問に答え、さらにレッスンを文章にまとめてフィードバックしなければなりません。その経験が、自分の英語力を高めることに非常に役立ちました。

こうして私は本当のゼロから4年間で、周りが驚くぐらい英語が話せるようになりました。「すごく大変な勉強をしたのでは？」という質問への答えは、「イエス」であり「ノー」でもあります。やはり本当に英語ができるようになりたければ、一定期間は空いている時間を全部英語学習に注ぎ込むぐらいの気合と覚悟が必要です。ただ、辛い勉強をしているという感覚は一切ありませんでした。例えばギターを弾けるようになりたかったら、朝も夜も何時間でも、自分から必死になって練習しますよね。それと同じです。英語の勉強を、やらなければいけないこと“have to”ではなく、やりたいこと“want to”にすればいい。実は日本語を教え始めた頃、アメリカ人女性と真剣な恋をしました。伝えたい思いがあふれて、毎日膨大な量のメールをやり取りしたのですが、それが結果的に私の英語力を飛躍的に高めてくれました。もちろん恋愛でなくても、趣味でも仕事でもいい。何でもいいから自分の中に、英語に対する大きなモチベーションを持つことが大事だと思います。

この2年ほど、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で少し英語から離れていたのですが、そろそろ次のステップへ進もうと思っています。まずはタクシーで観光ガイドをやりたいのですが、そのためにはTOEIC® L&Rで600点以上のスコアが必須条件なので、それを1つの目標に、楽しみながら英語を学習していこうと考えています。





## 専業主婦が通訳を目指し、 大学の英語講師になる

大学英語講師、2021年IIBC AWARD OF EXCELLENCE受賞者 **中根 香代子氏**

### 難しくても簡単になれない目標の方がやりがいがある

短期大学の英語科を卒業して企業の事務職に就き、結婚を機に退職して専業主婦になりました。当時それはごく一般的な生き方でした。ただ、昔から「一生に何か1つできたらいい」と両親がよく言っていたこともあって、私はこのままでいいのだろうかという心でどこかで感じていました。そこで、下の子どもが幼稚園に入って少し時間ができると、この時間だけは自分の「何か1つ」のために使おうと決めたのです。せっかく短期大学に行かせてもらったのを無駄にしたいくはないですし、語学なら家族に迷惑をかけず隙間時間でできる。そう考えて、英語力の習得を目標に掲げました。そして、どうせやるなら簡単にはかなわない夢を目指そうと、私にとっての英語の頂点、通訳という道を選んだのです。このとき、私は38歳でした。

留学経験もないし、特段、英語が得意だったわけでもありません。最初は、ラジオの英語講座を聴いてディクテーションすることから始め、「今日はこの記事を30回音読する」といった課題を自分で決めて取り組みました。子育てと介護があったのでまとまった時間はなく、お風呂上りにドライヤーをかけながらテキストを読んだり、キッチンに立ったまま暗唱したり、とにかく地道にコツコツと数年間勉強しました。

そしていよいよ通訳スクールに入学したのですが、周りは帰国子女や英語を専門に勉強してきた方たちばかり。自分の英語の未熟さに嫌気がさして、何度も逃げ出したいくなりました。そういうとき、私は1年後、2年後の自分の姿を想像してみます。もしここでやめたら、1年後の私は今と何も変わっていない。けれども低空飛行でも飛び続けていたら、必ず少し先まで進んでいるはず。どちらの自分がいい？ そう考えると、よし、頑張っ続けてよという気になれるのです。

自宅学習では、シャドーイングや英語の語順通りに日本語に訳していくサイトトランスレーションといった、通訳ならではの新しいトレーニング法を取り入れつつ、原点に立ち返って『ロイヤル英文法』を一から全部やり直しました。また、TOEIC® L&Rを定期的に受験して、間違った部分をしっかり復習して基礎力を上げていきました。TOEIC® L&Rは、その時々自分の実力を知る指標としてとても有効で、私の英語学習には欠かせない相棒のような存在になりました。

### 英語学習が新しい世界への扉を開いてくれた

スクール在学中から、少しずつ通訳の仕事をするようになりました。また、企業向けにTOEIC® L&Rの講師をする機会も



あり、そうなるともう少しきちんと学習したくなって、2019年に名古屋大学大学院の門をたたきました。本来、大学院へ行くのは4年制大学卒業以上で、短期大学卒業の私には資格がないのですが、通訳などの仕事の経歴とTOEIC® L&Rのスコアのおかげで出願資格審査を通していただき、筆記・口述試験を経て無事入学することができました。

専攻は人文学です。通訳の英語は非常にプラクティカルなので、改めて第二言語習得の理論を学ぶことでより深く体系的に理解できるようになりました。何より大学院では、たくさんの素晴らしい方たちとの出会いがあり、また大学の英語講師という職まで得ることができて、私にとって宝物のような2年間でした。

振り返ると、英語の勉強を始めた頃には、自分が大学院へ行くことなどは想像もしていませんでした。コツコツと地道に続けてきた英語学習が、私を全く新しい世界へと連れて行ってくれたのです。英語学習をしてきて本当に良かったと思います。

忙しい現代社会では、学習する時間がなかなか作れないのは仕方ないことだと思います。でも、例えば車の中で英語のラジオを流す。道を歩いているときに英語を口にしてみる。たった5分でも、たとえ集中していなかったとしても、やったかやらないか、1か0かでいったらそれは1です。そして毎日1を積み重ねれば、100にも1,000にもできるのです。

努力して身につけた知識は、積み重ねていけばいくほど、誰にも奪われない自分の自信になると断言できます。私の経験では、モチベーションは後からついてきます。忙しい日は5分だけでもいいから、毎日英語と向き合ってみてください。1年後に自分の頑張りを振り返ったとき、続けてきて良かったと必ず思うはずです。それが次へのモチベーションにつながるのです。

# 採用市場における 英語スキルが広げる新たな可能性

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部 部長 栗田 卓也氏

コロナ禍における採用市場では、どのような変化が生じているのでしょうか。またその中において、語学スキルを持つ学生・第二新卒といった若手の求職者たちには、どのような可能性が広がっているのでしょうか——。日本最大級の就職・採用情報サイトを運営する株式会社マイナビで、雇用関連のリサーチを行っている栗田卓也氏に、近年の採用市場の動向と、語学スキルが広げる新たな可能性について話を伺いました。

## 採用状況は、コロナ禍前の水準まで戻っている

はじめに、企業の採用状況についてお話しします。まず転職市場に関しては、2019年頃まで多くの業界において人手不足感が強まり、企業は雇用を増やしていました。それがコロナ禍の影響でいったん落ち着いたもののすぐに回復し、現在はコロナ禍前とほぼ同じ水準にまで戻ってきています。

新卒採用は、中途採用よりも社会的影響を受けにくく、実はコロナ禍でもそれほど大幅な減少は見られませんでした。学生に人気のある航空や旅行といった一部の業界は雇用を抑制しましたが、その分、ITや医療・福祉、流通・小売業界などでは採用を拡大しており、結果として内定率も横ばいで推移し、ここ1年では上昇に転じています。

就職活動においてコロナ禍の影響で生じた大きな変化の1つが、オンラインを利用した会社説明会や採用面接の普及でした。コロナ禍で直接対面が難しくなりやむを得ず導入に踏み切った企業が多かったものの、やってみると人事担当者・求職者



## 1

### 近年の採用市場の動向

- ◆ 転職市場は、コロナ禍前とほぼ同じ水準に戻りつつある
- ◆ 新卒採用市場は、コロナ禍で大幅な減少はなく、ここ1年は上昇に転じている
- ◆ オンラインを利用した会社説明会や採用面接が普及。最終面接などは対面で行う企業がほとんど
- ◆ 採用過程でのオンラインの活用により、都市と地方の距離的な不均衡が是正された
- ◆ 地方学生の就職活動費用が大幅に減少している

双方にメリットがあり、急速に浸透した感があります。さすがに最終面接などは今も対面で行う企業がほとんどですが、説明会や1次面接など、採用過程のいずれかでオンラインを活用している割合は6、7割に上ります。

その結果、都市と地方の距離的な不均衡はかなり是正されました。従来、地方の学生の就職活動には10万～15万円ぐらいの費用がかかっており、その大半が旅費交通費でした。それが今は6万～7万円程度まで減少し、移動にかかる時間も軽減されています。またオンラインで会社説明会に参加するなど都市部の学生と同じ情報にアクセスできることから、地方の学生にとっては、以前より都市部への就職のチャンスが増えています。反対にコロナ禍で働き方を見直して地元就職(Uターンを含む)を希望する学生は2年連続で増加していますが、あくまでも地方企業も視野に入れて検討してみようという印象です。地方企業からすると、これまで以上に都市部の企業と競争する状況になると言えるのではないのでしょうか。

### 海外企業への就職という新しい可能性が生まれている

少し視野を広げてみると、Webによって距離という物理的

な障壁が低くなり、就職先が国内の大都市か地方かの二択だけではなく、海外企業への就職という可能性も広がっています。海外企業では、国籍や地域にとらわれず多様で優秀な人材をグローバルに採用しており、日本にいながらにして海外企業の入社面接が受けられる環境も整いつつあります。また、リモートワークをはじめ働き方も多様化し、働く場所に縛られる必要もなくなってきました。

ただ今のところ国内求職者の間で、グローバル志向が特に高まっているという動きは見受けられません。逆に、企業選択に関する学生の意識調査では、「海外で活躍したい」という回答が2000年頃には7%前後あったのが、今は3%ぐらいに下がっています。社会情勢が不安定な中で冒険したくない、あるいは、海外に対して昔みたいな憧れがなくなり、あえて国外に行くまでもないと思う人が多いのかもしれませんが。

しかし実際には今、語学ができて何らかのスキルや経験があれば、OECD（経済協力開発機構）の平均賃金国際比較で示されている通り、国内よりも海外企業に雇用される方が、年収ベースでより高い報酬を得られるチャンスが増えているのです。そうした新しい可能性の扉が開いているという事実は、もっと広く認識されてもいいのではないかと考えています。

一方、日本国内の経済は、少子高齢化で今後は市場も人材も先細りになっていくと思われまます。そのため日本のドメスティックな企業も、これからは多かれ少なかれ国際社会と関係していかざるを得なくなっていくでしょう。海外のマーケットを開拓したり、あるいは海外から人材を受け入れたり、日々の業務に語学が求められる機会は増えると予想されます。

一時期、IT系の企業を中心に社内公用語を英語にする企業が出始めました。国内だけでは十分な人材がそろわないため、アジア各国をはじめとした海外の優秀なエンジニアの採用を積極的に進めています。そうすると今後、社内でのコミュニケーションに、世界共通言語である英語が必要とされるケースも増えてくるでしょう。

### 語学スキルがあると選択肢が広がる

もう一つ、最近の就職活動の特徴としてインターンシップがかなり定着してきました。「学生が選ぶインターンシップアワード」という表彰制度があり、その選考委員として各企業のプログラムの中身を見ているのですが、「海外の方たちと共同で自動車の動作制御機能を考えて作る」「アジアに行って現地でマーケティングを行う」といったように、日本の大学生向けのインターンシップに、海外での取り組みを含めたものがあります。グローバルに仕事をする企業ではそうした形が増えていて、学生はインターンシップのタイミングから、語学スキル、特に世界共通語である英語スキルの必要性を認識することもあ

## 2

### 英語スキルがあることで広がる可能性

- ◆海外企業に就職できれば、国内より高い報酬を得られるチャンスがある
- ◆国内のIT業界において、多国籍の社員の採用が進むなど、社内において英語スキルがより求められるようになる
- ◆英語スキルの明確な条件（外部試験の結果など）提示が必要なジョブ型雇用が、増えていく可能性がある
- ◆翻訳機などに頼らず、自分の言葉で思いを伝える英語スキルが大きな強みになってくる

るようです。

それでは、日本の企業がどのような英語のスキルを求めているのかというと、採用時には個人が今持っているスキルよりも、その人の人柄やポテンシャルを重視する傾向があります。そのため、採用時には特に高い英語スキルを求めないことも多いようです。必要になったときに後から勉強すればいいというスタンスで、その背景には長い目で社員を育てるという日本的な雇用システムがあります。

ただし、今後は海外のスタンダードであるジョブ型の雇用が大手企業を中心に少しずつ増えそうです。そこで語学のスキルなどを明確に提示する必要も出てくると思います。いずれにせよ、自身の英語スキルの到達点を確認するためにも、またそれを証明する客観的指標としても、世界共通の語学資格を有しておくことは、自分のキャリアの可能性を広げるために重要な要素になると思います。

今私が個人的に注目しているのは、AIによる自動翻訳の精度がどこまで上がるかということです。自動翻訳の技術は、驚くほどのスピードで進化しています。いずれは言語の違いが障害となっている様々な場面で、AI翻訳が大いに役立つだろうことは間違いありません。ただし、自動翻訳が万能かというところは決まらず、言葉は、個人を体現する要素です。ビジネス上のコミュニケーションにおいても、たとえ拙くても自分の言葉で思いを語った方が相手の信頼を獲得できるものです。その意味でも、英語が話せることはやはり大きな強みになると思います。

どこで、どのように働くかという選択肢が増え、特に語学スキルがあれば、海外企業にしても国内企業にしても、可能性の幅は大きく広がってきています。求職者の皆さんには既存の価値観にとらわれず、もう一つ広い視野に立って、自分の能力を生かせる仕事を見つけていただきたいと思います。



# 英語力強化に向け14団体が参加 「English Cup 2022」を開催

英語学習の必要性を感じつつもきっかけがつかめずにいる方、1人での学習をなかなか継続できない方たち向けに、ワクワク感を持って取り組める複数企業・横断交流型の英語強化合同イベント「English Cup 2022」を開催しました。今号ではその概要を紹介します。

本大会は、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社ナガセ、IBCの3法人による共同開催イベントです。

2020年、21年に引き続き、22年も「English Cup 2022」を開催。非接触型のバーチャル大会で、4カ月間(22年7月～10月)の英語力の伸長を競い合いました。複数の参加団体と合同で取り組むことで、競争意識が高まり、仲間と支え合いながらモチベーションを向上させることができる学びの場として定着しています。

本大会はTOEIC® L&R Test部門と、TOEIC® Speaking Test部門で構成され、4～6人で1チームとするチーム戦、および個人戦で実施。参加者は、期間中に行われるIPテスト、公開テストのいずれかを受験して、過去2年以内のスコアと大会期間中の最高スコアの伸長度合いを計算し、順位付けを行います。

今回は、AGC株式会社、中外製薬工業株式会社、DIC株式会社、DICグラフィックス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、日立建機株式会社、株式会社ファンケル、株式会社みずほフィナンシャルグループ(社名50音順)をはじめとした14団体が参加。表彰式を12月に開催し、盛況のうちに終了しました。

今回は、AGC株式会社、中外製薬工業株式会社、DIC株式会社、DICグラフィックス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、日立建機株式会社、株式会社ファンケル、株式会社みずほフィナンシャルグループ(社名50音順)をはじめとした14団体が参加。表彰式を12月に開催し、盛況のうちに終了しました。

## 大会スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
エントリー期間 ～6月15日 (水)	大会実施期間 7月1日(金)～10月31日(月)					表彰式 12月7日(水)
	WEBセミナー 7月16日(土)～10月16日(日)					
	WEB懇親会 8月5日(金)		中間報告 9月中旬			

チーム平均スコア **98点**  
581点から679点に **UP**

## 受賞者の声

スコア **40点**  
100点から140点に **UP**



TOEIC® L&R Test部門  
チーム戦1位  
(チーム名:通信)

東日本旅客鉄道株式会社  
電気システムインテグレーションオフィス  
数井 大雅氏/宮下 遥香氏/  
松浦 基氏/黒田 岳氏



TOEIC® Speaking Test  
部門  
個人戦1位

みずほリサーチ&テクノロジーズ  
株式会社  
IT本部 第3事業部  
中井 ひろみ氏

### 各自の目標意識が後押しに

メンバーとのチーム戦ということで自分にプレッシャーをかけてモチベーション高く英語学習に取り組むことができました。日々業務が忙しいこともありましたが、通勤時間などの隙間時間を利用して学習を進めていきました。テキストを中心に学習を進め、あるテキストは10周はやったと思います(数井氏)。

オンライン学習サービスやSNS動画を通じて日々英語学習に取り組んで参りました。いつか1人でも海外旅行に行けるようになりたい!という目標に向けて、これからも楽しく学習していきたいと思えます(宮下氏)。

自分が今後旅先で英語に困らないことを目標に学習を続けました。「以前、海外に行った際にもっと英語を話すことができたらさらに楽しめたんじゃないか」ということが心残りだったので、継続的に取り組むことができました(松浦氏)。

毎朝、様々な国の先生とオンラインで会話しています。ニュースを題材として、先生の意見を聞くようにしていて、自分の意見との違いを見つけ楽しんでます(黒田氏)。

### 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会がきっかけに

自身のやる気につながった、スコアの伸び率を競い合うこのイベントに感謝しています。これまでの人生、何度か英語の勉強を試みるも、続かず身につかないことの繰り返しでした。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティアになったことがきっかけとなり、いつもより長く、テレビやラジオ講座を聴いて細々と学習を行っていた頃、このイベントに参加することにしました。

TOEIC® Speaking Test部門とTOEIC® L&R Test部門の両方に参加しましたが、スペシャルサポーターによる勉強会が大変役立ちました。

声に出す重要性を教えていただいたので、毎日10分ほど英会話アプリも使い更に勉強しました。また、基礎力を向上させるために、短期集中で英単語を学習しました。

そのおかげでやっと少し勉強を習慣づけることができたので、このまま学習を継続し、機会を見つけて仕事や生活での実践につなげたいと思います。



## 参加企業の声

### 株式会社ファンケル

ファンケル大学教育企画部教育企画運営グループ

荒井 咲喜子氏



#### 「一緒にがんばる仲間」の重要性を再確認

当社は、2018年度に海外事業を成長ドライバーと位置づけ、会社全体でグローバル化を加速していくために、19年度より本格的に英語教育を始めました。マインドセット研修や英語力底上げのためにTOEIC® L&Rの受験機会提供を行ってきました。しかし、中には英語学習への意欲はあるものの、スコアが上がらず途中で挫折してしまう社員もいました。もっと会社全体で「一緒に英語学習をがんばる」風土が醸成できるイベントの実施を検討していたときにIIBCの担当者の方から「English Cup 2022」のご案内をいただき、参加しました。英語学習は個々の努力がもちろん大切ですが、お互いに声を掛け合い、挫折しそうになったときには悩みや学習法の共有ができる「一緒にがんばる仲間」の存在はやはり大きいと実感しました。特に協調性を大切にする当社社員には、チーム戦がモチベーション向上に寄与したと感じています。今後もこういったイベントを通じて、会社全体で「一緒にがんばる」風土を醸成し、英語力の底上げをしていきます。

## WEBセミナー



安河内哲也氏の講義の様子

2022年7月16日～10月16日の間で、東進ビジネススクール講師3名(安河内哲也氏、松本ミチロー氏、ATSU(西方篤敬)氏)により、オンラインのライブ形式でWEBセミナーを行いました。

#### 【講義内容】

- 「TOEICスピーキングテストトレーニング」  
安河内哲也氏
- 「TOEICリスニング&リーディングテストトレーニング」  
松本ミチロー氏
- 「英語学習法」「異文化コミュニケーション」  
ATSU(西方篤敬)氏

## 共同開催企業・団体からのメッセージ

### 株式会社みずほ フィナンシャルグループ

人材・組織開発部  
キャリアデザイン室  
キャリア開発チーム  
半澤 美友氏



「English Cup」は、グローバル化に向けた意識の醸成と、英語学習者の裾野拡大やレベルの向上を目的として、2014年度に「みずほ」で立ち上げた英語力強化イベントです。

20年度より、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会様・株式会社ナガセ様との共催の下、10社以上の団体の皆様にご賛同いただき、企業の垣根を越えて競い合う企業横断型イベントとして、今年3度目の開催ができました。

今回、参加者の交流会やスペシャルサポーターである安河内先生に英語学習について直接相談できる会の新設など、参加者同士の交流機会を増やしました。

語学学習における孤独さや継続の難しさに悩んでいる方にとって「English Cup」は、所属の枠組みを超え、共に取り組む仲間と励まし合いながら集中して学習できる絶好の機会です。互いの存在を意識することが、各々の英語力向上にもつながることを実感し、イベントの開催意義を改めて知ることができました。

### 株式会社ナガセ 東進ビジネススクール 本部

英語教育推進部  
後藤 尚子氏



当社は、みずほフィナンシャルグループ様の英語研修を担当しており、これまでに全受講生のTOEIC® L&Rスコアの平均で、内定者の方は約120点、従業員の方は約190点伸長するという研修を一緒に行っております。本イベントの運営に携わり、「講師陣が自慢の東進」として、実力派講師によるWEBセミナーや定期的な激励メッセージ提供など、参加者の皆さんのモチベーションを上げるサポートをしました。

WEBセミナーを担当した安河内哲也講師・松本ミチロー講師・ATSU講師の3名は受講生から絶大な人気のある講師ですが、今回も参加した皆さんより「英語の学習法が分かった」「スピーキングテストをもっとたくさん受験しようと思った」「グローバルに活躍する仕事をしなくなった」などのお声を多数いただきました。

今年度は新たに、会社の垣根を越えて受講生間の交流ができる「WEB懇親会」を行いました。安河内哲也講師も交えたブレイクアウト形式で、同じ英語学習をする仲間同士で、励まし合える機会になりました。

### 一般財団法人 国際ビジネス コミュニケーション協会

IP普及ユニット  
法人普及チーム  
村田 丈紘



「English Cup」において、当協会はIPテストの実施・運営サポートなどを通して参加企業様を支援させていただいております。

英語学習にアセスメントを活用することで現在地が把握でき、学習進捗がスコアとして見える化できることで学習モチベーションの維持・向上につながり、より効果的に学習を進めることができると考えております。

本イベントでは、スコアアップを競い合うだけでなく、学習モチベーションを向上させる仕組みが取り入れられております。WEBセミナーや交流会はもちろんですが、期間中に中間報告(途中経過)を共有することで参加者同士の刺激にも活用させていただいております。

これまでの傾向と比較すると、「TOEIC® L&R Test部門」だけでなく「TOEIC® Speaking Test部門」の参加者数が増えてきており、企業や従業員の皆様の中で英語発信力向上や実践的なコミュニケーション力強化に関心が高まっている機運が感じられました。



英語がもたらした私のターニングポイント 第16回

## “Heart to Heart”で、 相手とつながることが大切

フジテレビ系「めざましどようび」の海外ロケコーナーで、2年間レポーターを務めたタレントの鈴木ちなみさん。当時は月の半分を海外で過ごし英語を使っていました。元々は英語が得意ではなく、レポーターの仕事が決まってから本格的に学習を始めたそうです。現在住んでいるシンガポールでも日々英語力をアップデートしています。

●タレント

鈴木ちなみさん

### Profile

1989年岐阜県生まれ。2008年にモデルとしてデビュー。ファッション雑誌のレギュラーモデルや企業のキャンペーンガールに抜擢される。TVではTBS「日立 世界ふしぎ発見!」、岐阜放送「鈴木ちなみの元気のみなもと『ちなみな!』」などでレギュラー出演を果たし、フジテレビ「ファースト・クラス」にも出演。映画出演は「サラリーマンNEO 劇場版(笑)」「BRAVE HEARTS 海猿」「永遠の0」などがある。CM・雑誌にも多数起用される。20年2月に結婚し、22年6月に家族とともにシンガポールへ移住。特技は書道、新体操。

### テレビの海外レポーターに抜擢され 英語を基礎から学び始める

アメリカやヨーロッパ、アジア、中東など様々な地域の見所を現地取材してレポートする、「めざましどようび」の人気コーナー「鈴木ちなみのTOP OF THE WORLD」。そのレポーターとして私が活動を始めたのは、2012年、21歳のときのことです。

私は、モデルの仕事の始めてから、「仕事で海外に行きたい」「海外には自分の知らない世界がたくさん広がっている」と事あるごとにマネージャーに話していました。

きっかけは、高校1年生のときに、母に勧められて参加した、アメリカでの2週間語学研修プログラムです。私は英語が

それほど得意ではなかったのですが、ネイティブスピーカーの先生やホームステイ先の家族と毎日会話を交わしているうちに、「英語ってしゃべるのがこんなに楽しいんだ!」「こんなに心を通わせられるのだ」ということを体感したのです。

海外の人と英語でコミュニケーションを取る楽しさや成功体験が忘れられず、もう一度味わいたいと考えていました。その念願がかなったというわけです。

ただ、レポーターになったものの、現地に行ったら思うように英語が話せませんでした。正直なところ、レポーターといっても、取材の交渉や現地の方と話すときの通訳はコーディネーターの方がしてくださるので、英語を話せなくても何とか務まります。

しかし、現地の取材をするなら、レポーター自身も英語が話せるに越したことはありません。日本語しか話そうとしないレポーターよりも、多少拙くても英語で話そうとするレポーターの方が、取材相手も心をひらいてくれ距離がぐっと縮まると思い、本腰を入れて英語を学び始めました。

何より、私自身が、自分の力で海外の人とコミュニケーションを取りたかった。ロケ先で、相手から話しかけられても言っていることが分からず、「ハハハ…」と笑って返すみたいなシチュエーションが何度もあり、相手の話をきちんと受け取って、少ない単語でもいいから返したいと思ったのです。

### 「あなたのことを知りたい」という

#### ● **パッションを持ったアクションが、相手を動かす**

英語のレッスンは、ネイティブスピーカーと日本人講師のもとに通い、ネイティブスピーカーの講師からは英会話や発音を、日本人講師からは文法や発音記号を習い、特に、文法は一からやり直しました。

その上で、月の半分を海外でロケするうちに、だんだんと取材相手の英語が理解できるようになり、言葉を返せるようになりました。コーディネーターの方が不在で、ディレクターとカメラマンと私の3人で取材をするときは、私が通訳することもありました。

このように現地で話す経験を積み重ねることで、私は、英会話で最も大事なことをつかんできました。それは「パッション」です。

多少、文法が間違っても恥ずかしがらずに、「伝えたい」という気持ちを強く持って、何とか伝えようとする。相手の話を聞くときは、相手の目を見て、「あなたのことをすごく知りたい」という気持ちを全面に出す。

そうすると、相手にもその気持ちが伝わり、一生懸命聞いてくれたり、分かりやすく話してくれたりする。ひいては、相手と心を通い合わせることができる——。そのことを強く実感したのです。今でも鮮明に覚えているのは、アラブ首長国連邦のドバイで、砂漠に沈む夕日を撮影したときのことです。

私の撮影シーンが終わり、付き添ってくださったドバイ在住の女性スタッフの方と並んで夕日を見ていたとき、「すごくき



シンガポールの象徴的存在、マーライオン像と

れいだよね。私、自然が大好きなんだ」と話しかけたら、「私も自然が好きで」と乗ってきてくれて、色んなことを話したのです。すると、「忙しいと心がなくなるよね」というように、自然とお互い「心」について語っていました。そのときに、「あ、心が通い合った」という感触を覚えたのです。

一方的に話すのではなく、会話のキャッチボールをして、「Heart to Heart」で相手とつながる。そんなコミュニケーションを取ろうとすることが、英会話をする上ではとても大事だと思います。

### ● **分からないときこそ**

#### ● **新しい言葉を知るチャンス**

22年6月に、夫の仕事の都合で、シンガポールへの移住を発表しました。海外に住むのはこれが初めてです。

移住直後の2週間は、現地の人の英語が全く聞き取れず、落ち込みました。シンガポールならではの英語の発音があり、耳が慣れるまでは大変でした。移住して半年が経ちましたが、英語で悩むシーンは今でもたくさんあります。

例えば、子どもが熱を出したりお腹を壊したりして病院にかかったときに、症状をどうやって説明すればいいかが分からない。病院に行く前に下調べはするのですが、それでも分からない言葉が出てきます。

そこで最近強く意識しているのは、分からないときは「分からない」とその場できちんと言うことです。聞き返すのが恥ずかしくて流していると、せっかくの新しい単語を知るチャンスを逃してしまいます。

実生活で間違えたり、分からなかったりした単語は、シチュエーションも一緒に頭に入るので、適切に使えるようになりますし、記憶にも定着しやすくなります。「えっ？」みたいな反応でもいいので、聞き返すことが大切だと思っています。

たくさんの世界とつながれることが、英語を学ぶ醍醐味。勉強しているとくじけそうになることもあるかもしれませんが、その先にはきっと明るい未来があります。それを信じて、頑張ってください。



「めざましどようび」撮影時、アメリカアリゾナ州北部のアンテロープ・キャニオンにて

「<sup>しゅはり</sup>守破離」という言葉をご存じでしょうか。【守】とは、教えられたことを忠実に守り実行することです。【破】とは今まで学んだことをここで初めて破り、応用をきかせ発展させていくことです。【離】とは、今まで学んだことから離れ、オリジナリティを出していくことです。

何か新しいことを始めるときはまず【守】から始めます。新しい会社に入社したときであっても、新しい習い事を始めたときであっても、まずは「先にやっている人から教えられたとおりにマネをする」ということが大切です。

特に英語を勉強し始めたときこそ、【正しい英語しか】聞いてはならず【正しい英語しか】話すべきではないのです。「正しい英語しか聞いてはならない」とは「ネイティブスピーカーの英語しか聞くべきではない」ということです。「正しい英語を話す」ということは「ネイティブスピーカーの英語をマネる」ということです。言い換えるなら「自分で英文を組み立てない」ということです。

ただ「ネイティブスピーカーの英語しか」と言われても「どのネイティブスピーカーがいいの?」と疑問が湧いてくると思えます。そんなときは、「こんなふうに話せるようになりたいな」と憧れる映画俳優や著名人を1人ピックアップして、その人の話し方を徹底的にマネるのがお勧めです。

とはいえ、実際にやってみようとする、ネイティブスピーカーみたいに身振り手振りをとおげさに、ときには表情をクルクル変えて、感情表現豊かに話すのって、日本人の私たちにとって「ちょっと恥ずかしい」

と思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。または「私は日本人なので、日本人らしく奥ゆかしい話し方でよい」「ネイティブスピーカーみたいに身振り手振りを大げさにして話すのは私らしくない」と思う方もいるかもしれません。実際私もそうでしたし、この考え方のときは全く英語が伸びませんでした。

ここで考えてみてほしいのです。「私らしさ」って何なのでしょう。か。「私らしさ」と聞くと、良い意味で使われることが多いように思いますが、ある意味危険な単語だと思います。

ほとんどの人が「私らしくない」「違う気がする」「違和感がある」と言っているときは、「今の場所に留まりたい」「変わりたく

ない」という心の訴えなのだと思います。ですが、このコラムを読まれている方であれば、英語力を身につけて自由自在に海外の人たちとコミュニケーションを取れるような自分に「変わりたい」と思っている方が多いのではないのでしょうか。そういうときは「私らしさ」というものは一度捨てた方がよいです。

ここに気づいてから私の英語力も飛躍的に伸びていくようになりました。

一度「英語をネイティブスピーカーみたいにカッコよく話している自分」を想像してみてください。そのあな

たはネイティブスピーカーと同等に表情豊かで身振り手振りを使ってイキイキと自信に満ちたコミュニケーションを取っていますか? それとも日本人マインドのままお辞儀をペコペコしたり、終始真面目な顔でコミュニケーションを取っていますか?

「外国語を話す」とはその国の文化や習慣を知ってこそ成り立つものです。文化や習慣を知れば、その国の人たちの発想も分かるようになります。この「発想」をインストールして外国語を話すことが重要です。英語圏の人たちは自分が褒められたら“Thank you!”と満面の笑み

で答えて褒められたことを受け入れます。日本人のように「いえいえまだまだです」と手を横に振りながら謙遜したりしません。外国語を話すときは、その国の人に性格からなりきるのがミソです。「いきなり外国人に性格からなりきれない」と思う方は、自分のテンションが上がる英語のニックネームをつけて、そのように呼んでもらうだけでも外

国人になりきれます。私は英語を話すときは「私はキャサリン」と思い込んで会話をしています。このように、周りの人からどう思われるかなんて全く気にしないで「外国人の自分」になりきるとびっくりするほど英語があふれてきます。ぜひ試してみてください。

## Profile

しおかい・かおり 英語圏主要5カ国に合計10年間滞在し、その間複数のグローバルカンパニーに勤務。2021年に開催された東京2020オリンピック競技大会では、各国のオリンピック競技大会委員会・地方自治体・内閣官房と連携し、調印式や大会前後の交流における会議通訳・翻訳などを担当。また、23年春夏パリ・コレクションのショーでは、パリやロンドンと日本関係者との会議通訳・翻訳を担当。英語を使った仕事を叶えるオンラインスクールを経営。TOEIC® L&R、990点。

Study 1  
「マネ」からの視点

## 「私らしさ」を捨て、1人の ネイティブスピーカーを徹底的にマネる

株式会社ファイブアイズ・イングリッシュ 代表  
**塩貝 香織氏**

Point

1人のネイティブスピーカーに絞って徹底的にマネる  
「私らしさ」を捨てる勇気を持つ  
外国人になりきる



社会人の方からよく耳にする「英語が話せない」「英会話ができるようになりたい」というお悩み。そのような方に、これまでの英語学習について尋ねると、「とりあえず英会話レッスンを受けていました」と答える方が多いようです。もちろん、英会話をする事自体は有用な学習法であることに違いありません。ただ、「英語を話せるようになりたいから英会話を習おう」というように、目的をそのまま学習法にしてしまうと、必ずしも効率的な言語習得につながる実情もあります。

1つは、自分の現状の知識・スキルを考慮せず学習法を決めてしまっている、という点です。「英語が話せない」と一言で言っても、その理由は人によって様々。そもそも、「英会話ができる」という状態は、「相手の発言を理解し、それに応答できる」という状態です。そのためには、土台として様々な知識やスキルが求められます。例えば「相手の発言を理解する」の部分だけをとり、語彙・文法の知識、聞き取れるようにするための正しい英語の音声知識、聞いたそばから即時的に内容を把握するスキル(リーディングスピードとも言える)などがなくては成り立ちません。これらに大きな弱点を抱えている場合、「話す」練習だけに特化するのでは得策とはいえません。効果的な学習のためには、「話せない」原因がどこにあるのかを把握し、弱点になっている部分に学習の比重を置くようにすると良いでしょう。

もう1つは、英会話レッスンだけだとしてもアウトプットに偏りがちになることです。第二言語習得の研究者である白井恭弘教授は「大量のインプットと少量のアウトプット」が言語習得の成功の鍵だとおっしゃっていますが、インプットを大量に行うことの重要性に異論を唱える研究者はいません。では、アウトプットは何のために必要なのでしょう。1980年代に「アウトプット仮説」を唱えた Merrill Swain 氏は、アウトプットの機能として①気付き、②仮説検証、③メタ言語能力の向上を挙げています。①は、アウトプットすることで、聞いたり読んだりしているだけでは気付かないような細かい文法などに注意が向くという機能。②は、自

分の発する言葉が正しく相手に通じるか検証できるという機能です。③は、話しながら「過去形なのに-edがついていなかった」などと自らコメントしたり指摘されたりすることで、言語の形式などについての意識が高まるということです。これらの機能により、自分が正しく話せない部分に気付くことで、その後のインプットの際に適切な言語表現に注意が向き、より効果的な言語習得が促されるとされています。つまり、「アウトプットを行うことでインプットの効率や質が高まる」ということで、また、アウトプットする

ことで「自動化」が促されます。インプットした知識があっても、それが必ずしもスムーズに口から出てくるとは限りません。このためにはやはりスピーキングの練習が必要です。しかしアウトプット時は、基本的には自分の既存の知識を使うことしかできませんから、新しい知識が増えるわけではありません。やはり、インプットの内容を理解することが言語習得のスタート地点にあることが分かります。

インプットとアウトプットは何割ずつが良いのか、といった黄金比が厳密に明らかにされているわけではありませんが、初級者ほどインプットの割合を多く確保し、上級者であっても、例えば学習時間の7割以上ぐらいはインプット学習の時間を確保しておくのが賢明でしょう。英会話レッスンを受けるのであれば、話すトピックに関連する事柄について事前に英語で読んだり聞いたりした上で臨めば、インプットした知識の自動化につながります。レッスン後

には、自分がうまく言えなかった箇所を振り返り、適切な表現についてインプットするようにしてみましょう。

なるべく無駄なく英語力を高めるためには、まず自分の知識やスキルを客観的に把握して、インプットとアウトプットのバランスとサイクルを意識して学習することをお勧めします。

## Profile

たばた・しょうこ 株式会社スタディーハッカー常務取締役。京都府出身。立命館大学卒、言語教育情報学修士。米国留学を経て、英語教育について研究。TESOL(英語教育の国際資格)を保持。2010年、京都にてスタディーハッカー立ち上げ時より、英語指導の責任者として参画。2015年、ENGLISH COMPANYを立ち上げ東京へ。短期間で英語力を高めるプロフェッショナルとして、より良い教授法開発、トレーナー育成に従事する。

## Study2

### 第二言語習得論からの視点

# 主軸とするインプット学習の質を アウトプットの気付きで高める

株式会社スタディーハッカー 常務取締役

田畑 翔子氏

## Point

現在の知識やスキルを客観的に把握する

上級者でもインプット学習を多めに行う

「アウトプットの気付きでインプットの質を高める」を繰り返す



# 英語を使った就業体験を提供する 「ShiriBeshi留学」

## 世界的なリゾートエリアで グローバルシチズンシップを育む

小樽市をはじめとした1市13町6村からなる北海道<sup>しりべし</sup>後志地方。世界的にも評価の高いパウダースノーを楽しめる、ニセコ、ルスツ、キロコ、岩内<sup>いわない</sup>などのリゾートエリアを有し、コロナ禍以前には、大勢の外国人観光客が訪れていました。同エリアには英語対応が可能な施設が多く、コロナ禍で外国人観光客が減少した後も、多くの外国人住民が暮らしています。

道庁の出先機関である北海道後志総合振興局は、その地域特性を生かし、2016年度より「ShiriBeshi留学」に取り組んでいます。リゾートエリアにあるホテルや飲食店等での英語を使った就業体験や、地元の人々との交流等を通じて、SDGsや多文化共生について、学びを深めるプログラムです。当初は、総務省のふるさとワーキングホリデー制度を活用していたものの、参加者に制限があったことから、17年度より北海道の財源を使ったプログラムへと切り替え、道内外問わず広く参加できるようになりました。

北海道後志総合振興局地域創生部地域政策課主事の熊澤達氏は、「国際性・多様性に富んだ多文化共生先進地であるという地域特性を生かして、SDGsのターゲットでもあるグローバルシチズンシップの育成に取り組むとともに、意欲的な若者を後志に呼び込むことで、関係人口<sup>\*</sup>の増大を目指しています。地域の方々にとっては、参加者と交流し多様な感性に触れることで、新たな地域づくりのアイデアが発見できるのではないかと考えています」と語ります。

## 英語を実践的に使用し SDGsや多文化共生についても学ぶ

ShiriBeshi留学は年2回、夏と冬にそれぞれ約1カ月間にわたって開催されています。2022年度夏には、26名が参加し、10の企業が受け入れ先となりました。参加者は、応募段階で各企業から提示されている英語レベルを参考にし、就業体験をしたい企業を選び、面接を経て、受け入れ先が決定します。年齢制限は設けられていないものの、大学生が目立ち、特に国際関係や外国語



北海道後志総合振興局の熊澤達氏



ShiriBeshi留学生の就業体験の様子

を専攻している方が多いそうです。留学を控えた方なども参加しています。

業務内容はそれぞれ異なり、宿泊業ではフロント業務、レストランでは接客業務などに従事。日常的な業務で英語を使う企業や社内公用語が英語の企業、業務ではあまり英語を使用しないが寮では外国人スタッフと英語で話す機会がある企業など、英語を用いる頻度やレベルは異なります。

また、休日にも、受け入れ企業の外国人スタッフなどと一緒に買い物に行ったり、アクティビティを楽しんだり、自主的に英語での交流を深める方もいるようです。

プログラム開始前にはオンライン研修、プログラム期間中には、事前研修や中間研修（地域交流）、また最後には事後研修が設けられています。その内容は、参加者同士の親睦や、地元の自治体の首長による講話、地域おこし協力隊との交流などで、地域やSDGsについての学びを深める機会となっています。

参加者からは、「英語を実践的に使うことで英語力が伸びた」「ほかの参加者から刺激を受けた」といった感想が出ているそうです。一方、受け入れ企業の担当者からは、「参加者の気付きや意見が参考になった」といった声が上がっています。参加者の中には、留学を経験後、受け入れ企業へ就職をした方もいるなど、企業と地域にも貢献する取り組みとなっています。

今後は、より多くの方にShiriBeshi留学を知ってもらえるよう、大学での説明会を実施するなど、情報発信にも注力したいと熊澤氏。有意義な時間となるよう、引き続き安心安全なプログラムを企画していきたいと語っていました。

地域の特色を生かし、グローバルシチズンシップの育成に取り組むShiriBeshi留学。参加者にとっても、地域にとっても有意義な場となっています。

## ■ 第14回IIBC高校生英語エッセイコンテスト表彰式

### 「コミュニケーションを通じた響きあい」をエッセイのテーマに追加

IIBCは、高校生を対象にした「IIBC高校生英語エッセイコンテスト」を毎年開催しています。2022年に開催した第14回目となる同コンテストでは、テーマを「身近な異文化体験～コミュニケーションを通じた響きあい～」に変更。相手の生き方や考え方に触発されて、自分自身も変化を遂げるという、相互触発による「響きあい」の大切さを意識してほしいという思いを込めています。本選には150校229作品、奨励賞に35校1,862作品のご応募をいただき、その中から9名の受賞者を決定し、22年11月5日(土)、ホテルニューオータニ(東京都千代田区)にて表彰式を開催しました。当日は新型コロナウイルス感染症対策として会場への出席者数に制限を設け、オンライン中継も行いました。これからもIIBCは、英語のエッセイライティングを通して、高校生に身近な異文化体験やコミュニケーションについて考える機会を提供してまいります。



### 受賞者

※受賞時の学年を記載

#### 👑 最優秀賞

**山下 実穂さん**  
渋谷教育学園幕張中学校・高等学校 2年  
タイトル: The Door to Tolerance

#### 👑 優秀賞

**鎌須賀 美空さん**  
渋谷教育学園幕張中学校・高等学校 2年  
タイトル: "Out of the Box" Experience

#### 👑 優良賞

**住井 円香さん**  
学校法人角川ドワンゴ学園 S高等学校 3年  
タイトル: Understanding Hidden Kindness

#### 👑 特別賞

**菊池 華恋さん**  
岩手県立花巻北高等学校 3年  
タイトル: No Borders: School for Everyone

**坂口 礼佳さん**  
東京都立武蔵高等学校 1年  
タイトル: Courage to be Happy

**高城 那奈さん**  
慶應義塾湘南藤沢高等部 1年  
タイトル: Expressing Feelings Verbally

**田 哲さん**  
芦屋学園高等学校 1年  
タイトル: Seishun

**山本 里咲さん**  
広島なぎさ高等学校 2年  
タイトル: Art is Created Through Harmony

**横田 卓己さん**  
報徳学園高等学校 2年  
タイトル: Football-More than a Game

#### 👑 アルムナイ特別賞

**住井 円香さん**  
学校法人角川ドワンゴ学園 S高等学校 3年  
タイトル: Understanding Hidden Kindness  
※優良賞、日米協会会長賞とトリプル受賞

#### 👑 日米協会会長賞

**住井 円香さん**  
学校法人角川ドワンゴ学園 S高等学校 3年  
タイトル: Understanding Hidden Kindness  
※優良賞、アルムナイ特別賞とトリプル受賞

**山下 実穂さん**  
渋谷教育学園幕張中学校・高等学校 2年  
タイトル: The Door to Tolerance  
※最優秀賞とダブル受賞

**山本 里咲さん**  
広島なぎさ高等学校 2年  
タイトル: Art is Created Through Harmony  
※特別賞とダブル受賞

#### 👑 奨励賞

35校、1,862名

※本選: 1校2名(2作品)までの応募が可能。受賞者9名を決定  
※奨励賞: 1校20名(20作品)以上の応募校に贈られる賞  
※アルムナイ特別賞: 過去の受賞者が選んだ1名(1作品)に贈られる賞  
※日米協会会長賞: 一般社団法人 日米協会より本選応募作品の中から、国際理解や国際交流の観点で優れた3名(3作品)に贈られる賞

本選受賞作品、および奨励賞に参加された学校は、IIBCの公式サイトでご覧いただけます。  
[https://www.iibc-global.org/iibc/activity/essay/2022\\_ceremony.html](https://www.iibc-global.org/iibc/activity/essay/2022_ceremony.html)



## ■ 2022年IIBC AWARD OF EXCELLENCE

### 受賞者数が過去最多の600名に!

IIBCは、2017年より毎年「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語4技能を測るTOEIC® Tests (TOEIC® L&R, TOEIC® S&W, TOEIC® Speaking (22年より対象))の公開テストで、基準のスコアを取得された受験者を表彰し、「IIBC AWARD OF EXCELLENCE」という表彰状をお贈りしています。対象となるのは1~12月の間にTOEIC® L&Rで800点以上(リスニング375点以上かつリーディング425点以上)、TOEIC® S&Wのスピーキングで160点以上かつライティングで170点以上、TOEIC® Speakingで160点以上を取得した受験者です。7回目を迎えた22年は、過去最多の600名の方が受賞しました。これからもIIBCは英語4技能をまんべんなく学び、コミュニケーションツールとして積極的に英語を活用している受験者の皆さんを応援してまいります。

受賞者にはオープンパスジ  
(デジタル証明書)も贈呈。



IIBC AWARD OF EXCELLENCEの公式サイトがリニューアル! 受賞者インタビューなども掲載しています。



[https://www.iibc-global.org/toEIC/pr/iibc\\_award\\_of\\_excellence.html](https://www.iibc-global.org/toEIC/pr/iibc_award_of_excellence.html)

## TOEIC® Program エピソード

# テストの品質を維持向上し続ける

IIBC 調査研究室

本連載では、TOEIC® Programを開発するETSが、テスト品質の維持向上のためにしている取り組みについて、お伝えしていきます。ここまで、テスト品質を構成する3大要素のうち、「妥当性」について取り上げてきましたが、今回は、「信頼性」を見ていきましょう。

- 妥当性：測るべきことを、測れている
- 信頼性：テスト結果に一貫性がある
- 公平性：誰にでも公平なテストである

テストにおける「信頼性」とは主に「テストの結果に一貫性がある」こと、つまり「いつどこで誰が受けても一貫性がある結果をスコアとして返す」ことを指します。

具体例を挙げてみましょう。「Aさんがテストを受け、その晩は何も勉強せず、翌日に同じテストを受験したら、同程度のスコアだった」場合には、Aさんの能力に変化がないことがスコアによって示されているため、テストの「スコア基準」がぶれていない、つまり「一貫性がある＝信頼性がある」と解釈することができます。

このようにスコア基準にぶれが生じないからこそ、スコアを基にした受験者同士の能力の比較（例：AさんよりもBさんのスコアの方が高い→Bさんの方がそのテストで測定される能力が高い）や、経時的な能力の推移（例：1年前よりもスコアが上がった→1年前よりもそのテストで測定する能力が上がった）の把握ができるようになります。

TOEIC® Programを開発するETSでは、テストフォームごとの難易度のばらつきなど、コントロール可能な変数を取り除くことで、一貫性がある結果（スコア）を返し、信頼性の高さを維持できるよう取り組んでいます。具体的に

は、TOEIC® L&Rの問題を作成する過程において、フォーム間の一貫性が保たれているかどうかを、複数回におよぶ厳密なレビューによって検証しています。

さらには、公開テストを実施するたびに、全ての新フォームのスコア分布を分析し、フォーム間で生じる難易度の差異をequating（等化）と呼ばれる統計的な処理によって解消した上で、スコア基準が一貫している度合いを検証しています。その度合いは「信頼性係数」という数値で算出されます。

信頼性係数は「0から1の値」で表され、「1」に近いほど信頼性が高いとされます。信頼性係数が「1」ということは「完全に一貫している」ことを意味するため、テストに付随する様々な変数（受験者のコンディションなど）を考えると、現実的にはまずあり得ないでしょう。

TOEIC® L&Rの信頼性係数は、1979年の第1回公開テスト実施以来、リスニングセクションとリーディングセクションともに、常に「0.90以上」を維持し続けています。一般的なテストでは、信頼性係数が「0.75から0.80」程度で比較的高い信頼性があると言われるので、「0.90」を超えるものは非常に信頼性が高いテストであると言えます。

さらに、信頼性係数が算出されるまでのプロセスで明らかになった分析結果は、テスト開発メンバーにフィードバックされ、さらなる品質の向上に役立てられています。このようにして、ETSでは常に信頼性の高いテストを提供するべく、TOEIC® Programの品質維持向上のサイクルを実践しています。

TOEIC® L&RはTOEIC® Listening & Reading Testの略称

本誌は公式サイトでもご覧いただけます。

[https://www.iibc-global.org/iibc/activity/iibc\\_newsletter.html](https://www.iibc-global.org/iibc/activity/iibc_newsletter.html)

IIBC NEWSLETTER

検索



あなたが世界をつなぐ  
あなたと世界をつなぐ

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会  
The Institute for International Business Communication

IIBC公式サイト <https://www.iibc-global.org>

外部からの寄稿や発言は、必ずしも当協会の見解を表明するものではありません。

【お問い合わせ】

ブランドマネジメントチーム [iibcmktg@iibc-global.org](mailto:iibcmktg@iibc-global.org)